

第4回 府中市総合計画重点プロジェクト（府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略）推進協議会会議録（要旨）

開催日時 令和5年2月28日（火）午前10時～午前11時15分

開催場所 府中市役所北庁舎3階第1会議室

出席委員 6名（50音順）

榎本委員、金子委員、高橋委員、中島副会長、藤江会長、山口委員

欠席委員 2名

伊浪委員、小島委員

出席説明員等

佐々木政策経営部行政改革担当参事兼行政経営課長、

大木行政経営課長補佐、橋本行政経営課主査

（文化スポーツ部）市ノ川スポーツタウン推進課長、塚本スポーツ

タウン推進課長補佐

（都市整備部）塩澤道路課長、竹内道路課副主幹

（教育部）目黒指導室主幹、濱田指導室統括指導主事

傍聴者 なし

議事日程

1 開会

2 確認事項

第3回府中市総合計画重点プロジェクト（府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略）推進協議会会議録（要旨）について

3 審議事項

府中市総合計画重点プロジェクト（府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略）に設定された事務事業の指標について

4 その他

会議録（要旨）

藤江会長 ただいまから、第４回府中市総合計画重点プロジェクト（府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略）推進協議会をはじめます。事務局から本日の委員の出席状況を報告してください。

事務局 出席状況を報告します。
（出席状況及び会議有効成立の報告）

藤江会長 次に、事務局から本日の傍聴希望の状況を報告してください。

事務局 本日、傍聴希望者はいません。

藤江会長 次に、事務局から本日の配布資料を説明してください。

事務局 資料は、本日机上に配布している６点となります。
（配布資料の確認）

確認事項

第３回府中市総合計画重点プロジェクト（府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略）推進協議会会議録（要旨）について

藤江会長 前回の第３回協議会の会議録が資料４－１として事前に送付されましたが、指定された期日までに修正等の連絡はなかったと事務局から報告を受けています。最終確認になりますが、修正等について意見はありますか。

（挙手及び発言なし）

藤江会長 それでは、第３回協議会会議録の内容を確定したいと思いますので、事務局は速やかに公開の手続きを行ってください。

審議事項

府中市総合計画重点プロジェクト（府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略）に設定された事務事業の指標について

藤江会長 まず、事務局から資料の説明をしてください。

事務局 配布資料４－２を用いて説明します。
（重点プロジェクトの事務事業の指標等の変更内容について説明）

藤江会長 事務局から資料に基づく説明がありました。

前回までの協議会での審議を受け、重点プロジェクトに設定された事務事業の内容と指標について、改めて担当課と事務局が調整し、修正したものとなります。前回からの懸案事項として、担当課に出席していただいている事業から順に確認していきたいと思います。

まず、18の教育相談・教育支援事業について、担当課から補足等があればお願いします。

担当課 不登校特例校の設置について説明します。建物の老朽化等の問題が生じている市立教育センターについて、旧しみずがおか高齢者在宅サービスセンターへの移転が決定したことから、移転後の新教育センター内に分教室型の不登校特例校を設置することとし、改修・整備を進めていく予定です。なお、同建物の1階の一部と2階にある東府中駅自転車駐車場は改修範囲に含まず、変更はありません。

建物の概要ですが、1階はエントランス、管理室になり、2階はそのまま駐輪場、3階は事務室や現在の教育センターで行っている適応指導教室、けやき教室、相談室を設置する予定です。4階は会議室、会議控室、研修室、5階は特例校の教室を3部屋用意しまして、二つは普通教室、一つは家庭科や理科の授業ができる特別教室です。そのほか、職員室、保健室、静養室を設置します。最上階6階は多目的ホールを設置し、子どもたちが運動や音楽ができるよう環境の整備を進めていく予定です。

山口委員 追加で設定してもらった指標に加え、もう少し具体的な指標があると評価しやすいと思う。建物概要を説明してもらったので、3階に今までの適応指導教室があり、それとは違う分教室型の特例校を目指していることなどは理解したが、整備率の指標だけではなく、ほかにも入居判定基準や、保護者や本人の相談支援体制も作っていくと思うので、そういった状況も把握できるとよいのではないかな。

児童発達支援センターやこの不登校特例校の設置は、市民の関心の高い事業だと思うので、もう少し内容が分かるようにしてもらいたい。

事務局 本協議会においては、事業の進捗が一目で分かるものとしてアウトプット指標を設定する方針で進めており、事業内容の詳細については、実評価の中で担当課からの説明や資料を共有しながら委員の皆様を確認いただき、評価していただく流れとなっているかと思います。

山口委員 よく分かったが、それであれば事務事業内容にももう少し入居判定基準の作成や設定、相談支援体制の検討などが入っている方が評価しやすいと思う。

担当課 数値として捉えると難しい面がありますが、私たちの思いとしても、山口委員のご指摘と同じく不登校特例校が目指すべきところや、不登校特例校に通う生徒の支援をどのように進めていくかを大切にする考えを持っています。府中市としても、令和6年度の児童発達支援センターと令和7年度の不登校特例校の二施設の開設に向け、それを必要とする市民の方々の支援につながるようしっかりと取り組んでいきます。

中島副会長 この協議会の中で指標はアウトプットとしているが、山口委員の発言はアウトカムに関する事なので、そこは評価の中で検討していくと思う。

藤江会長 この不登校特例校はどのくらいの生徒を対象として計画していますか。

担当課 不登校特例校の在籍予定人数ですが、中学生の各学年10名程度、全体で40名程度を想定しています。

藤江会長 次に、23のけやき並木周辺整備事業について、担当課から補足等をお願いします。

担当課 けやき並木周辺整備事業は、けやき並木の西側地区において道路の新設または拡幅を行う事業です。当該事業は平成21年度に第1次計画決定を、平成25年度に第2次計画決定を行い、現在はその第2次計画決定を行った7路線を対象とした整備に取り組んでおり、路線が完成した状況です。

その他の道路に関しては、現在、用地取得交渉等を行っている段階で、そういった条件が整った段階で整備に入る予定です。道路整備に関しては非常に長い時間をかけて行う事業ですので、この4年間の中ではなかなか数値の上昇は難しいとの考えで計画値を設定しています。

藤江会長 完成した1路線について、その要因を教えてください。

担当課 完成した1路線は新設の道路です。元々既存道路でのネットワークを考えていましたが、建て替え等がないと用地取得が難しい場所があり、現時点では取得にかなりの時間がかかるとの想定から、間に一つ新設道路を通して別ルートを作った上で、残りの6路線の整備を進めていくことにしました。

完成した路線は用地取得が比較的容易でしたが、残りは借地権者や地権者の方が複数いるところなので、用地取得に時間がかかるものと考えています。

高橋委員 これから何年くらいで完成するかの見込みかを立てないまま進めるのは携わる職員のモチベーションの観点からも大変苦労があると思うが、どういう形で進行を管理しているのか知りたい。用地買収に向けた工夫や、取組状況を上手く表すことはできないか。

また、仮にこれから30年かかかるとなった場合に、けやき並木など周辺の状況が変わる可能性もあると思うが、計画は機動的に見直するのか。

担当課 建て替えの時期は市で設定できるものではなく、地権者の判断になるため、ゴールの時期を設定するのは難しい状況です。我々にできることは、各地権者との関係を切らさないよう継続的に訪問し、なかなか同意いただけない方に対して、時間を空ける、状況が変わった際に伺うなど、各々の事情に寄り添いながら交渉を進めることです。

指標に関しては、現在主に取り組んでいるのは用地取得のため、用地取得率を指標に設定する考えもあるかと思いますが、総合計画の施策107に用地取得に関する取組が設定されていることから、あくまでもこのけやき並木周辺整備事業としては、主目的である道路整備を捉えた指標の設定が望ましいと考えています。このため、数値としてはなかなか増加が見込めませんが、毎年の取組内容については、定性的な評価も合わせてご判断いただければと思います。

また、計画の見直しについては、現時点で具体的な予定はありませんが、状況の変化は当然あり得ますので、柔軟に対応していきたいと考えています。

中島副会長 指標の数値は現在の6.6%に至るまで、毎年少しずつでも上がってきたのか、それとも全く伸びず0の年もあったのか。

担当課 この数値が伸びるタイミングは道路の完成時になるので、4-503号の完成時以外は数値が伸びていない状況です。1路線完成すれば数値が大きく上がります。

藤江会長 現在取り組んでいる用地取得について、どのくらいの費用がかかるかを教えてもらえますか。

担当課 用地取得の費用に関しては、担当課が別のためお答えできませんが、個々の条件や移転補償費など交渉内容に関わることで担当課でも回答は難しいかと思います。

藤江会長 私達も数値化してそれをひたすら追いかけるというより、

取組の実態も把握して客観的に評価をできればと思い、少し立ち入った質問をさせていただきました。私の経験から言うと、時間がかかるほど費用もかかり、特に公共事業等は施設も含めて費用がかかるものなので、中心市街地の活性化はインフラといった意味でも不可欠な機能であるものの、難しいところだと思います。

藤江会長 次に、 27 の総合体育館移転関連事業について、担当課から補足等をお願いします。

担当課 総合体育館は、建築後 60 年目を迎える令和 13 年度の移転を目指していましたが、移転予定先の府中基地跡地留保地内の通信施設の返還の見通しが立ち、留保地内全体の利用計画を見直す大きな動きが出てきたことから、移転時期が延伸し、当該施設の整備に向けた具体的なスケジュールが立てづらい状況です。

このため、関係課が当課とも連携して進めている総合体育館を含めた文化・スポーツ施設全体の在り方を検討していく中で、市民ニーズ等を収集するためにワークショップやイベントなどを実施していますので、この取組をアウトプット指標として設定しました。

なお、令和 6 年度に策定予定の在り方等を新しい総合体育館の整備方針につなげていくため、令和 7 年度の指標は資料のとおり文章で記載しています。

藤江会長 このイベント等の取組は、その在り方の策定に反映させていくものですか。

担当課 お見込みのとおりです。関係課からは在り方等の策定に向けて、こういったイベントのほかパブリック・コメントなども実施する予定と聞いています。

藤江会長 ほかに確認することがなければ、担当課の方にはここで退席ください。

(担当課退席)

藤江会長 それでは、そのほかの項目について、確認したい点や意見などがあればお願いします。

中島副会長 2 点細かい部分になるが、一つは 31 の府中の森芸術劇場管理運営事業の指標の保守点検項目数は、保守点検「の実施」項目数にした方が分かりやすいと思う。

もう一つは取組方針と事務事業の配列になるが、今回、事務局で取組方針と事務事業内容の対応関係を赤字と青字で分かりやすく整理してもらい、例えばNo. 1 から 3 に関しては整合が取れているが、 19 から 21 は赤字と青字の色分けが逆になっている。各項目のつながりを分かりやすくするため、 19 の前に 21 を持ってくるなど並び替えを検討してもらいたい。

藤江会長 一つ目の保守点検「の実施」項目の三文字の挿入はよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

藤江会長 二つ目の取組方針と事務事業の順番の整合性について、こちらはもう 1 度全体を確認する必要があるため、事務局で作業してもらった上で、会長と副会長が確認する方針でよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

藤江会長 それでは、そのように進めます。
そのほか、確認したい点や意見などがあればお願いします。

山口委員 18 の教育相談・教育支援事業について、事務事業内容や指標の不登校特例校に「分教室型の」と一言入るだけでもこれまでとの違いや、どう整備しているかがイメージできるのでお願いしたい。

藤江会長 事務局への確認ですが、事務事業内容は総合計画から転記したもので、評価のフォーカスを絞るために削ることはありますが、加筆は難しいと理解しています。総合計画上に記載のないことについては、この協議会の判断でしたこととして、補足事項を括弧などで追記する方法はあると思いますが、いかがでしょうか。

事務局 事務事業内容の文章内容自体を修正するのではなく補足説明として、不登校特例校「(分教室型)」であれば問題ないと思います。

藤江会長 正確さを期すための追記になりますので、そのような対応にしたいと思います。

高橋委員 事務事業内容には不登校特例校の設置と書いてあり、恐らく教員を何名配置するなどソフトに関すること含まれると思うが、指標には新教育センター整備率とハードのことが書かれているので、指標

もソフトと合わせたものを設定する必要があるのではないか。

あるいは、この整備率の中にソフトに関することにも含まれているのであれば、先ほど括弧で補足説明を追記する話もあったが、明確に分かる説明があってもいいと思う。

中島副会長 山口委員に確認したいが、新教育センターができることは、ソフトも含めた一体的なものと捉えてもいいのか、それともハードだけ完成しても中身がなければ問題なので、何かしら対応が必要なのか。

山口委員 現在、文部科学省からも様々な情報が発信されているので、不登校特例校の設置だけでは何をするかのイメージがバラバラになる可能性があるが、「分教室型」の文言を入れれば、取組内容の共有ができるし、教育課程が敷かれることや教員の配置もイメージできるので、これで足りると思う。

藤江会長 ほかに意見はありますか。

それでは資料４－２の内容を基本としつつ、本日出た意見や考えを受け、配列や細かい表現等は私と中島副会長にらせていただくこととし、事務局と調整の上で、重点プロジェクトのアウトプット指標を決定したいと思いますよろしくお願いします。

(「異議なし」の声あり)

藤江会長 他に意見や質問はないようですが、事務局からは何かありますか。

○事務局 事務局から３点説明・連絡します。

重点プロジェクトの評価方法の説明(資料４－３)

次回の開催日程について(６月から７月にかけて３回、翌年３月に１回の合計４回開催を予定。４月以降に日程調整のメールを送付。)

本日の会議録の件(後日、メールにて確認依頼してから公開。)

藤江会長 それでは、以上をもちまして、令和４年度の協議会を閉会します。

以上